

まちづくり交付金 事後評価シート
大浦地区

平成22年4月

長崎県長崎市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長崎県		市町村名	長崎市		地区名	大浦地区			面積	134ha	
交付期間	平成17年度～平成21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	1,757.5百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	街路(常盤町大浦元町線)、道路(川上町出雲線)、公園(出雲近隣公園)								
			提案事業	なし								
	当初計画から削除した事業		基幹事業	なし		事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
			提案事業	なし								
	新たに追加した事業		基幹事業	道路(出雲17号線)				当路線において、関連事業(ふるさとづくり)により整備を進めてきたが、事業遅延により交付期間が切れることから、関連事業より移行し、出雲近隣公園と併せて整備を行なうため。		影響なし		
			提案事業	事業活用調査(事業効果分析調査)				当該計画の事後評価を専門の見地から検証を行い、以後のまちづくりに生かす必要があるため。		影響なし		
交付期間の変更		当初	平成17年度～平成21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
		変更	変更なし									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因		フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)		予定時期
	指標1	生活道路の整備に対する満足度	%	16.2	H15	35.0	H21	31.6	△	あり なし	以前は狭く、安全性が確保されていない箇所が数多く存在したが、道路整備事業により、部分的ではあるが、道路拡幅や新設がなされ、生活道路としての安全性が高まっている。	平成22年9月
	指標2	防災対策の強化に対する満足度	%	10.3	H15	25.0	H21	36.8	○	あり なし	道路整備事業により、緊急医療及び災害時の輸送路、公園整備事業により、災害時の避難的役割の場が改善され、満足度が向上されている。	平成22年9月
	指標3	水と緑に親しむ都市空間の創出に対する満足度	%	28.8	H15	60.0	H21	42.1	△	あり なし	公園整備事業により、一定規模を有した公園が整備され、緑と親しむ場、地域コミュニティーの場が改善されている。	平成22年9月
	指標4								あり なし			
指標5								あり なし				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因		フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)		予定時期
	その他の数値指標1	地区内の1人当り公園整備面積	m ² /人	0.72	H15		2.13			公園整備事業により、地区内の住民が緑と親しむ機会や、地域交流として利用できる場所が増加している。		平成22年4月
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	関係地区住民の方から、道路の整備により便利になり、近くに広い公園がなかったため、公園が整備され良かったとの意見があった。											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	公園の計画・整備において、アンケート調査を行い、関係地区住民の意見を反映。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も地域住民の意見を反映した事業を実施していきたい。				
持続的なまちづくり体制の構築	公園整備完了後、トイレ清掃等の簡易的な維持管理をお願いできないか地元自治会等と調整中。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 調整中であるため、地元自治会等に協力が得られる様に進めていきたい。					

様式2-2 地区の概要

大浦地区(長崎県長崎市) まちづくり交付金の成果概要

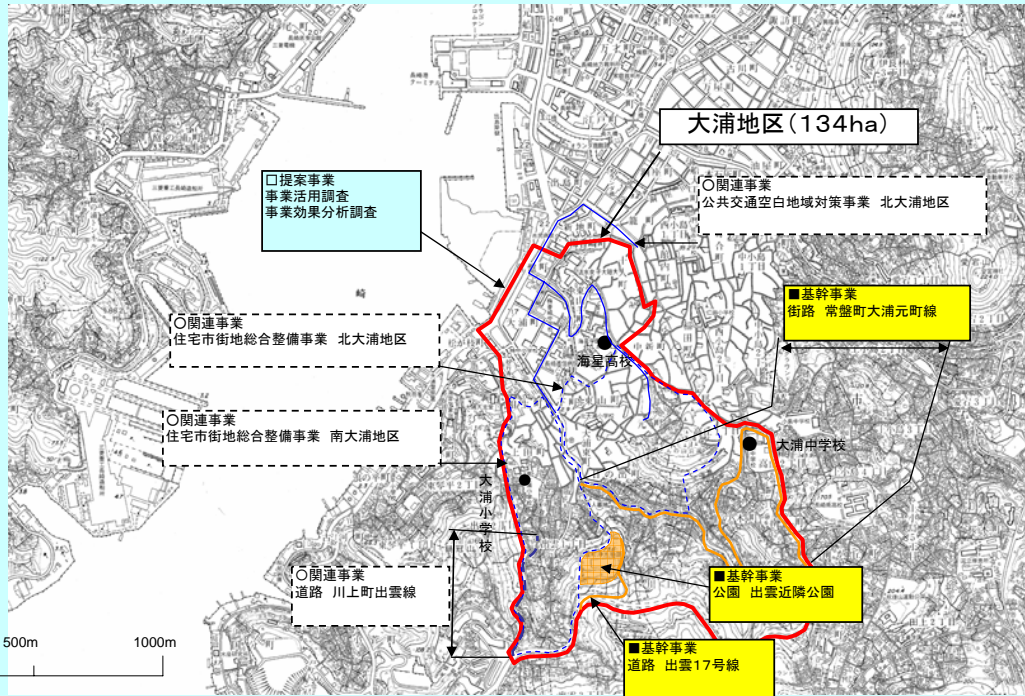
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
斜面市街地における生活道路・公園の整備による利便性・安全性の向上等、住環境の改善	生活道路の整備に対する満足度	単位: %	16.2 H15	35.0 H21	31.6 H21
	防災対策の強化に対する満足度	単位: %	10.3 H15	25.0 H21	36.8 H21
	水と緑に親しむ都市空間の創出に対する満足度	単位: %	28.8 H15	60.0 H21	42.1 H21
	地区内の1人当り公園整備面積	単位: m ² /人	0.72 H15		2.13 H21



■道路事業 川上町出雲線



■道路事業 出雲17号線(施工中)



■街路事業 常盤町大浦元町線



■公園事業 出雲近隣公園(施工中)

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者にも配慮された道路が整備され、高齢化問題の改善がみられたが、地区内人口の増加等がみられないため、今回の事業だけではなく長期的視野での事業等が必要。 ・部分的ではあるが道路拡幅や新設により、生活道路としての安全性が高まったが、地区全体では道路幅員が狭い箇所が点在するため、道路整備の充実が必要。 ・一定規模を有した公園整備により、地域のコミュニティーの場や災害時の避難地的役割が改善されたが、避難地として利用するには、公園までの避難計画等の検討が必要。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・道路について、通行する上で危険な箇所がないか点検等を行い、地元自治会等と協力して安全対策の強化を図る。 ・公園について、地域交流の場として、安全で快適に利用できるように、地元自治会等と協力して、清掃や施設の点検等を進めていく。 ・地域コミュニティーの場としての利用促進を図るため、地元自治会等と協力して、住民が集えるイベント等の開催を検討していく。 ・地区内人口の増加等がみられないため、今回の事業だけではなく長期的視野での事業等において、地元住民の協力を得て改善を図る。 ・地区全体では道路幅員が狭く、安全性が確保されていない箇所が点在するため、地元住民の協力を得て、今後とも道路の改善を図っていく。 ・災害時の避難地としても利用できる場が改善されたことから、避難場所として位置付けし、住民への周知を図っていく。

都市再生整備計画（第3回変更）

おおaura
大浦地区

長崎県 ながさき
長崎市

平成22年3月

清算調
査

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	長崎県	市町村名	ながさき 長崎市	地区名	おおつらち 大浦地区	面積	134	ha
計画期間	昭和	49 年度 ~ 平成	24 年度	交付期間	平成	17 年度 ~ 平成	21 年度	

目標	斜面市街地における生活道路・公園の整備による利便性・安全性の向上等、住環境の改善
----	--

目標	平成21年12月 まちづくりの経緯及び現況 ・大浦地区近隣の南山手・東山手地区はかつて外国人居留地に指定されたことから、開発の歴史は古く、そのため多くの文化遺産が残されており、グラバー園を中心に本市観光の拠点となっている。 ・当地区は傾斜地や高台に市街地が形成されているが、道路や公園等の公共基盤施設の不足や、交通アクセスの不備、木造住宅の老朽化などにより、地区内人口の減少や、地区住民の高齢化が進むなど、住環境に関する多くの問題を抱えている。 ・近年、当地区において「まちづくり」の気運が高まり、住居環境改善の視点に立った「まちづくり」協議が住民と行政の間で進められており、整備が策定されている。
----	---

課題	・当地区は、道路や公園等の公共基盤施設の不足や、住宅の老朽化などにより、地区内人口の減少や、地区住民の高齢化が進むなど、住環境に関する多くの問題を抱えている。このような中、道路については、常盤町大浦元町線と川上町出雲線が、生活道路、通学路、緊急医療および災害時の輸送路として重要な路線であるため、早期に整備する必要がある。また、公共交通の利便性が低いため、乗合タクシー等の運行を行っている。さらに、一定規模を有し、地域コミュニティの核及び災害時の避難地としての公園がなく、整備が求められている。
----	---

将来ビジョン(中長期)	・長崎市総合計画においては、個性と魅力にあふれた都市空間を形成する上で「斜面地を活かしたまちづくり」、安全・快適な道路交通網の整備を行う上で「30分交通圏の都市づくり」、地域の核となり、緑に親しむ公園整備を行う上で「水と緑に親しむ都市空間の創出」を方針としている。 ・長崎市都市計画マスタープランでは「国際交流の歴史と文化がもたらす情緒あふれる都市づくり」という位置付けのもと、斜面市街地の整備を推進し、都市基盤整備と一体となった住環境の改善と防災性の向上を図ることが地区整備の目標とされている。
-------------	---

目標を定量化する指標							
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
生活道路の整備に対する満足度	%	長崎市民満足度調査の結果(道路環境の満足度)	生活道路の改善による利便性の向上	16.2	H15	35.0	H21
防災対策の強化に対する満足度	〃	〃	生活道路の改善による安全性の向上	10.3	H15	25.0	H21
水と緑に親しむ都市空間の創出に対する満足度	〃	〃	公園整備による安らぎと潤いのある都市空間の創出	28.8	H15	60.0	H21

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・斜面交通対策による住環境の向上 斜面市街地における生活道路などの整備により、地区内の良好な道路ネットワークの形成を図る。その中で地区内のバス路線である常盤町大浦元町線と、低地と高部を結ぶ地区内幹線道路である川上町出雲線の整備を推進する。また、北大浦地区においては、地形的制約等から路線バスの乗り入れがなされていない地域、いわゆる「バス空白地域」となっており、乗合タクシーを運行することで、地域住民の利便性の向上、公共交通機関の利用促進を図る。</p>	<p>街路事業、道路事業、公共交通空白地域対策事業、住宅市街地総合整備事業</p>
<p>・斜面市街地における総合的な住環境の整備 斜面市街地においては、生活道路や公園などの都市基盤整備とあわせ、老朽住宅の建替えを図りながら共同化・強化や不燃化を促進し、住環境の改善と防災性の向上に配慮した総合的な住環境整備を図る。</p>	<p>街路事業、道路事業、公園事業、住宅市街地総合整備事業</p>
<p>・</p>	
<p>その他</p>	

